

第118回謳粋会の記

平成20年6月12日 於「笹乃雪」

6月の謳粋会は、気温も湿度も上がってくるので、根岸「笹乃雪」の豆腐料理で、ということになりました。

「笹乃雪」初代玉屋忠兵衛が元禄4年(約315年前)上野の宮様(111代後西天皇の親王)のお供をして京より江戸に移り、江戸で初めて絹ごし豆腐を作り根岸に豆腐茶屋を開いたのが当店の始まりだそうです。当時の製法そのままに、井戸水とにがりを使用した昔ながらの豆腐の味を売りにしています。

小付、生盛脛、小桶、あんかけ豆腐、雲水、胡麻豆腐、うづみ豆腐、揚げ物など正に豆腐を主体にしたコースでしたが、それだけではいくら高齢者が多い謳粋会でも物足りないだろうと、刺身(鮪)と湯葉の盛込みを加えて貰いました。

最初に出た小付では、5, 6品を円周上に並べた真中にクリーム状のソースが山盛り、「食べた後の皿を掃除するのは“妻”(大根)の仕事」などといかにも江戸時代らしい店主の講釈があったり、暫くして出てきたあんかけ豆腐は同じ物が2つ、これは「宮様が旨いと言ってお代わりを請われたから」などと余り理屈にならない講釈があったりで、皆さん大笑いでした。

お酒の方は、お店の大吟醸だったため皆さんのピッチが早く、「仲居さん」よろしく甲斐甲斐しく徳利を運んでいた若山氏から途中で会費追徴の警告が出されましたが、酒はじっくり味わいながら呑みましょう、ということで、追徴はしませんでした。料亭はお酒で儲ける、しかも大吟醸でした。さすが酒に通暁した若山氏でした。(大野記)

出席者:

昭20中45 大塚 保
昭20中45 松尾 一郎
昭27高 坪井 洋
昭31高 大野 金一
昭31高 菊地 清
昭31高 小松崎 暁
昭31高 酒井 隆二
昭31高 高野 久弘
昭31高 中村 信秀
昭31高 中本 青士
昭31高 武藤 明
昭31高 山田 晴康
昭31高 山本 嘉子

昭 31 高 横手一郎
昭 36 高 木口 健児
昭 36 高 若山 宏
昭 40 高 池和田 暁
昭 41 高 飯塚 哲哉
昭 41 高 中島 良平
昭 41 高 長戸 琴
昭 41 高 初田 正雄
昭 41 高 久松 信明
昭 41 高 安井 恵子